

【3-1】日常生活支え合い実践事業

配食サービス体制強化事業 (あわら市)

基礎情報

実施地域 あわら市全域
実施主体 社会福祉法人 あわら市社会福祉協議会
所在地 福井県あわら市市姫二丁目31-6
代表者 会長 関 法子



平成25年度の事業概要

在宅生活の継続に必要な食事を提供するために、365日休まず配食サービス（昼食のみ）を平成23年9月から開始した。
また、安否確認及び栄養改善も実施目的となっている。

- ・配食専門の職員を新規に採用した。
- ・広報誌・ホームページ上でPR活動を行った。

現在の活動状況

配達は、職員が直接顔を見て手渡しすることにより、利用者の安否確認を行い、健康チェックや会話をすることにより、利用者とのコミュニケーションを図っている。

また、その際、体調不良を確認した場合は、担当のケアマネジャーと速やかに連携を取り、対処している。

あわら市内に居住している方で、おおむね65才以上の高齢者単身世帯または高齢者のみの世帯の方を対象としている。

調理は外部業者に委託している。

事業の実績、成果

・平成24年 4月～ 9月利用実績	3,688食 (615食/月)
・平成24年10月～翌年3月利用実績	1,846食 (615食/月)
・平成25年 4月～ 9月利用実績	3,228食 (538食/月)
・平成25年10月～翌年2月利用実績	2,433食 (487食/月)

※利用者栄養管理面でのサポートができた。

※日々顔を合わせるにより、利用者職員との信頼関係が構築され、配食時間を心待ちにしている方も増えていた。

工夫した点

お弁当のできあがりから利用者に手渡すまでの時間を考慮し、配食スタッフの人数や配食ルートなどの効率化に重点を置いている。



事業の財源

- ・平成 24 年度は、人件費やガソリン代及び車両管理費は、当施設の他事業から補填している。
- ・平成 25 年度も、24 年度と同様である。

課題

- ・利用者の中には認知症の方も多く、配達時に不在であることも多く、安否確認に要する時間が多くなっている。
- ・認知症利用者の方で、弁当の食べ残しをそのまま放置していることがある。
- ・コストをかけずに、広範囲の利用者へ時間内に食事を配達するための工夫
- ・食事の品質を落とさずに、コストを抑える工夫。

今後の目標

- ・単身世帯の高齢者及び障がい者の増大により、担当ケアマネジャー、家族及び近隣の方との連携を密に図り、安否確認の徹底を図る。
- ・今後、配食件数の増加も考えられるため、配達を行う人材を確保していく。
- ・介護保険認定者以外の方も対象としていく。

団体からのメッセージ

栄養バランスのとれたメニューをご用意しています。
「きざみ食」での提供も可能です。
お気軽にご相談ください。